

“くそ”をめぐる韓日文化比較試論

倉石 美都[※]

韓国を訪れる多くの日本人観光客の中には、「韓国の文化と日本の文化は似ている」という感想を漏らす人がいる。また逆に「韓国の文化と日本の文化は違っている」という人もいる。いったいどちらが本当なのだろうか。

2004年に日本で放映された韓国テレビドラマ「冬のソナタ」を契機として、日本では急速に韓国文化に対する関心が盛り上がり、これを「韓流ブーム」と呼んで多くの日本人観光客が韓国を訪れるようになった。こうした韓国に対する強い関心はそれ以後も続き、現在は2次ブームとも3次ブームとも言われている。いうまでもなく朝鮮半島の人々と日本列島弧に住む人々との交流には長い歴史がある。古く天之日矛神話に見られるような朝鮮半島からの渡来伝承をはじめとして、『古事記』『日本書紀』にも多くの記述が見られる。また倭寇の活動や秀吉による所謂壬申倭乱などを経て、近世にははるばる朝鮮通信使が派遣されてきた。しかし、その後の不幸な歴史の影響もあって、両者の文化に対する認識に問題が生じていた。だが、1998年から始まる韓国政府による日本文化に対する開放政策によって、韓日文化の交流がようやく公認されることになった。いずれにしても韓国と日本の間には、不断の政治的・文化的交流があった。

そうした交流の歴史を背景として、韓国を訪れる日本の旅行者は、「日本に似ている」といい、日本を訪れる韓国の旅行者は「韓国に似ている」というのである。もちろん、これは両国文化の間に相違があることを了解しつつ、その類似点にまず着目しているのである。しかし、しばらく滞在し、その実態を認識してくるにしたがって、改めて文化的相違点に関心をもち始める。

そうした相違点の一つに「クソ」や「廁」の問題がある。韓国のドラマや映画などには、トイレの場面が多く登場する。もちろん日本のドラマなどでも全く登場しないわけではないが、その描き方が異なっているのである。日本のドラマなどに登場するトイレは、ほとんど手を洗う、化粧を直すなどといった、排泄行為とは少しずらした間接的な空間として登場するだけで、排泄行為をしているとか、嘔吐した吐瀉物まで描かれることはまずない。ところが韓国のテレビドラマなどでは、便器に座って排泄行為をしている、酒に酔って嘔吐している、といった、トイレの本来的な排泄物処理の場・空間として、登場することが珍しくないのである。

韓国の放送規制は厳しく、ナイフやタバコは未成年の視聴者に悪い影響を与えるからという理由でモザイクがかけられる。またドラマの登場人物の服装や小物に、ブランドのマークなどが出ると、広告になるからとモザイクがかけられる。これほど視聴者に対する配慮がなされているにもかかわらず、排泄行為やその場・空間の描き方に対しては、極めて寛容なのである。

※韓国・国民大学校非常勤講師

しかも日常会話の中で、排泄物である「くそ」という意味の“𦵏”（トン）が使われることが多い。

確かに日本のテレビにも排泄行為や「くそ」が、全く登場しないわけではない。かつて一世を風靡したドリフターズの「8時だよ！全員集合！」では、しばしばそうした場面が演じられ、「うんこ、チンチン」などという台詞は子供たちに人気があったが、大人たちが眉をひそめたことを記憶している人も多いはずである。しかしこれはバラエティー番組であり、まじめなドラマなどではなく、その幼稚さを強調する場面であった。

このような「くそ」、あるいは排泄行為に対する描き方の差異は、些細なことかもしれない。しかし韓国ドラマにおいては、時を選ばず、食事時であろうとごく自然に排泄行為やその場が放映され、それに対して視聴者がなんら不快感を示していないところを見ると、「くそ」に対する感覚が日本人とは異なっているのではないかとも思われる。いうまでもなく、美醜善悪の感覚は価値観に基づくものであって、極めて文化的な存在である。つまり我々が、「くそ」は汚いもの、穢らわしいものであって、そのようなものを排泄する行為は人目に曝すものではなく、隠すべきものである。あえて曝すのは幼稚なものであって、滑稽であるとされる、という認識・感覚は、日本文化に基づくものであって、韓国文化においては異なっているのではないかという可能性が、否定できないのである。

そこで以下、「くそ」「厠」に関する幾つかの事例を記述することによって、韓日文化の比較を行なってみようと思う。韓国・日本両国において、「くそ」の比較文化的研究の蓄積はほとんどないといってもよい。それに比すれば「厠」の研究は多少はなされている。しかし、それも建造物としての「厠」や、空間としての「厠」であり、「くそ」とかかわらせた研究は、管見の限りほとんどない。ただ、東ゆみこが、神話学の立場から、記紀神話や古代神話に見られる「くそまる」行為を、二元論や両義性論・構造論を超えて、具体的文脈によって理解しようと試み、日本神話において、「女の「クソ」と神婚・性交・子産みとが結び付けられる」思考の存在を発見しているのが注目されるのみである（東ゆみこ『クソマルの神話学』青土社 2003年）。これは新しい試みであり、刺激的な作業であって、貴重な研究成果である。しかしこれはあくまでも神話学からのアプローチであり、民俗学の観点からのものではない。文化の内側にあって、もう一度確認なされなければならない点も多い。

「くそ」の韓国と日本の比較にあたって、まずその語彙の検討からはじめたいと思う。なお、表記は、基本的には「くそ」とするが、適宜同義の表現・表記である「糞」「うんち」「うんこ」「大便」「用を足す」といった表現も用いることにする。しかし、そこに特別な意図があるわけではない。

1、「くそ」の語義

(1) 辞書的意味

①韓国の「くそ」語句

まず、「くそ」を表わす“똥”(トン)について、辞書の記載をみていきたい。韓国の『新国語辞典』第4編には26語句が記載されている。それを整理したのが次に示す表である、1~16までは“똥”(トン)が語頭にある語であり、17以下は句中に“똥”(トン)がある語句である。

表1 韓国の“똥”

	語句	意味	俗に使われる意味	そのままの意味	価値のないもの	かす	汚いもの	他
1	똥	便、大便、くそ、糞、うん 硯に残った墨汁の滓。		○		○		
2	똥감태기	糞まみれ		○	○			
3	똥값	ただ同様な安値。捨て 値 二束三文			○			
4	똥개	くそ犬	駄犬。野良犬。雑種の犬。 在来種の犬。		○		○	○
5	똥구멍	くその穴	尻の穴。肛門。	○				
6	똥끝	糞の出先。		○				
7	똥독	くその毒		○				
8	똥배	糞の腹	太鼓腹。ぼてい腹。	○				○
9	똥싸개	そそうをする子供。 糞をよく垂らす人。		○ ○				
10	똥줄	便の出口。肛門。	勢いよく出る便。またはその 勢い。	○				○
11	똥집	くその家	大腸の俗っぽい語。 体躯、または体重を茶化して いう語。 胃袋の俗っぽい語。	○ ○ ○				○ ○ ○
12	똥차	糞尿車	(よく故障をおこす)ぼんこつ 車。ぼろ車。	○	○			
13	똥창	糞の穴	牛の腸の一部分。	○				○
14	똥칠	糞をつける。	くすんだ黄色。 面目潰し。泥を塗ること。味噌 をつけること。				○	○
15	똥통	便所に設けられた糞尿 桶。肥桶。	つまらないものたえ。おん ぼろ	○	○			
16	똥 파리	糞にたかる蝇。	キンバエ。クソバエ。 お節介な人や利権にたかる (人をだますために)くそをた れる振りをすること。	○			○	○
17	괴똥	たくらみの糞			○		○	
18	파리똥	ハエの糞		○				
19	파리똥새	ハエの糞の粒	鉱石の中にハエの糞のように 混ざっている真っ黒で細かい 金粉の粒					○
20	개똥	犬のくそ。	くだらないもの。つまらないも の	○	○			
21	개똥상늬	犬の糞野郎	言行の卑しいならずものを卑 しめて言う語。		○		○	
22	개똥참외	犬の糞のマクワウリ	道端や原っぱなどに自然に生 えて実ったマクワウリ。		○		○	○
23	개똥지빠귀	犬の糞のツグミ	ツグミ。					○
24	개똥번역	犬の糞の翻訳	二重翻訳。または下手な翻訳 の俗っぽい語。		○			
25	번데기똥	さなぎの糞	さなぎを面白くいう語。					○
26	치우개똥	消しゴムのうんち	消しかす			○		

また、これ等の語句が実際に使用されるときに、どのような意味を表わす語句として使われるのか、それを整理するために、「語義」のほかに、幾つかの意味に分類してその使用実態を示した(表1参照)。

こうしてみると、“汚”という語は、語頭に置かれていようと、句中にあらうと、排泄物としての「くそ」であるだけでなく、つまらないもの・価値のないものという比喩として用いられているものがあることが、明白である。したがって“汚”は、語義通りに使用するだけでなく、「価値がない」「汚い」「滓」という意味で用いられることも多いのである。

例えば、町を歩いていて、自分の嫌いな種類の犬や、かわいくない犬を見ると「汚개」(トンケ、くそ犬)というが、これは「糞にまみれた犬」ではなく、「駄犬」の意味であり、悪口として用いているのである。また、このほかに物事を茶化すときにも“汚”をつけることがある。23「개똥 지빠귀」(ツグミ)、25「변데기 똥」(さなぎ)などは面白くしたり、くだらなく聞こえさせたりするためにあえて「ツグミ」や「さなぎ」に“汚”を付けるのだという。

しかし、“汚”は、生理的な現象として排泄されるものであり、生物としての人の行為としてはごく正常な行為である。したがってそれと密接な関係にある「肛門」は、特に関心をもたざるを得ないところでもある。しかし「肛門」という表現は医学的なものであって、日常的な会話としては「うんちの穴」(똥구멍)と表現される。さすがに大人が病院に行って「うんちの穴が痛いんです」ということはないようである。しかし20代の女子学生たちは、「便秘だったので“うんちの穴”が痛かったです」と恥ずかしそうに話したりすることがある。彼女達が毎日気にしているのは、生理的な「肛門」でも「尻の穴」でもなく、「うんち」の穴なのである。

②日本の「くそ」語句

日本における「糞」語句の概要を見るために、『日本国語大辞典』(『日本国語大辞典』第2版第4巻 小学館 2001年)の語句を取り上げてみよう。本書は古典語なども収録しているので、現在はほとんど死語となってしまっている語句も含まれている。そうした意味では韓国の『新国語辞典』とは多少辞典の性格、したがって語句例の内容が異なっているかもしれない。ただ、より正確に「くそ」語句の内容を把握しようとするために、あえて異なる性格の辞典であることを承知しながらも用いようとするのである。

さて、『日本国語大辞典』には、基本語である「くそ」をはじめとして、121語句を見出すことができる。これを大きく2分類すると、排泄物である「くそ」そのものにかかわるA「直裁的語句群」と、比喩や形容などに用いられたB「間接的語句群」とになる。もちろん、「くそ」という語そのものについても、「一、[名]消化器内で消化吸収された食物の残渣が、肛門から排泄されたもの。二、[感動]気にさわることをした人をののしるとき、思うようにならなくていららするとき、気持ちをふるいたたせようとするときなどという語。三、[接頭]卑しめののしる意を添える語。また、程度のはなはだしいことをののしる意。四、[接尾]他の語について、卑しめののしる意を表わす語。」(『日本国語大辞典』)と記されており、単一の意味で用いられるわけ

ではない。ただ、本論の基本的語彙であるから、その基本的な意味である排泄物の意にしたがって、直裁的語句群のみに分類しておこう。

A 直裁的語句群 (38語句) 31.4%

a 具体的表現 (25語) (66%)

ア、事物 (21語)

くそ・糞桶・糞搔き・糞搔篋・糞肥代・糞たご・糞溜・糞担桶・糞壺・糞所・糞取・糞取船・糞拭く・糞袋・糞船・糞篋・糞堀・糞持ち・糞腸・糞腸袋・糞化石

イ、行為・状況 (4語)

糞を垂れる・糞臭い・糞ひる・糞まる

b 比喩的表現 (13語句) (34%)

糞でも食らえ・糞でも拝味しやがれ・糞にする・糞にもならぬ・糞の煮えるよう・糞の役にも立たぬ・糞も味噌も一緒・糞を食らえ・糞を垂れる・糞を味噌に言う・糞食い・糞浚い・糞味噌

B 間接的語句群 (84語句) 69.4%

a 強調表現 (5語句) (0.6%)

糞が呆れる・糞とも思わぬ・糞忌々しい・糞う・糞勝ち

b ののしり表現 (7語句) (0.8%)

糞食らい・糞外道・糞垂れ・糞っ・糞ッ垂れ・糞痴・糞ッ食らい・

c 接頭語 (72語) (86%)

ア、形容表現 (27語) (38%)

糞暑い・糞意地・糞落ち着き・糞面白くない・糞面白くもない・糞重い・糞下・糞滓・糞高慢・糞ごなし・糞寒い・糞散々・糞正直・糞ずっこ・糞ずまし・糞束ね・糞垂れ腰・糞力・糞ッ腹・糞丁寧・糞馬鹿・糞兵衛・糞勉・糞勉強・糞真面目・糞勿体・糞喧しい

イ、名詞 (45語) (63%)

(a) 植物 (12語)

糞瓜・糞蔓・糞臭木・糞ごうり・糞瓜・糞桜・糞茸・糞なば・糞人参・糞ほこり・糞檀・糞餅

(b) 人・動物 (24語)

糞親父・糞掛・糞爺・糞皮・糞助・糞ッ垂れ女・糞握り・糞婆・糞坊主・糞野郎
糞蛙・糞蟹・糞亀・糞黄金・糞鷹・糞鳶・糞蠅・糞鮠・糞飛蝗・糞墓・糞鮒・糞蛇・糞虫・糞鯉
ウ、その他 (9語) (13%)

糞戸・糞度胸・糞話・糞ひりの病・糞船の束子・糞骨・糞結び・糞無理言・糞自棄

以上の分類は、語句の意味の細部に及んで十分な検討を行なった結果ではなく、韓国文化と

の比較のための基礎作業であるので、できるだけ単純化し、その主なる意味にとりあえず分類したものである。しかし、「くそを垂れる」という表現は、「①大便をする。また、大便をもらす。②不義理をする。多く、「慈悲を垂ればくそ垂れる」などの形で、恩を仇で返す意に言う」と説明されており、あまりにも大きな隔絶があるため、直裁的語句群の「a 具体的表現」の「イ、行為・状況」、および「b 比喩的表現」の両方に分類した。

便宜的な分類とはいえ、これを見ると日本における「くそ」語句は、多岐にわたって使用されていることがわかる。とりわけ「くそ」にかかわる事物が多く、「くそ」が生理現象として身近であっただけでなく、いかに生活と深くかかわっていたかがわかる。それゆえであろうか、接頭語としても多く用いられ、罵ったり、極めて程度が低かったりするときの形容として多用されている。動植物名にも多く使用されていることもまた特徴の一つといえることができるであろう。

ちなみに、韓国の『新国語辞典』と比較する意味で『広辞苑』を見ると、「くそ」にかかわる語句は、24語句に過ぎない。その数からのみみれば、韓国の『新国語辞典』とはほぼ同様である。『広辞苑』記載の「くそ」語句を、『日本国語大辞典』同様な分類で整理すると次のようになる。

A 直裁的語句群 (12語句) 50%

a 具体的表現 (9語)

ア、事物 (8語) くそ・糞桶・糞溜・糞拭く・糞舟・糞壺・糞袋・糞腸

イ 行為 (1語) 糞まる

b 比喩的表現 (3語) 糞も味噌も・糞を食らえ・糞味噌

B 間接的語句群 (12語句) 50%

a 強調表現 (0語句)

b ののしり表現 (1語句) 糞垂れ

c 接頭語 (11語) 糞蛙・糞蔓・糞鳶・糞蠅・糞鮎・糞虫・糞着き・糞骨・糞真面目・糞度胸・糞戸

こうしてみると、『日本国語大辞典』の121語句というのは、辞典の規模にもよるのであろうが、かつて私達の生活の中にかに多くの「くそ」語句が存在していたかをよく示している。それは「くそ」が、いかに生活の中から排斥されて行ったかをも示している。

二つの辞典の語句を比較すると、単に語句数が少なくなっただけでなく、強調したり譬えたりする「間接的語句群」が少なくなっているのがわかる。『日本国語大辞典』では約3:7の割合で「間接的語句群」が圧倒的多かったのに、『広辞苑』では5:5になっている。しかもそのうちの半分は、接頭語として動植物名を構成する語なのである。直裁的語句群の具体的表現として用いられている語を加えると、「くそ」語の大半は名詞の一部である。『日本国語大辞典』において、7割近く存在していた間接的語句群の内、3割以上(「くそ」語全体でも2割以上)存在していた形容表現は、「糞垂れ・糞落ち着き・糞骨・糞真面目・糞度胸」だけであり、比喩的

表現としての「糞も味噌も・糞を食らえ・糞味噌」を加えても、『日本国語大辞典』の表現の豊かさに比べればその足元にも及ばない。もっとも収録語句数に対する割合からすれば、『日本国語大辞典』の43%に対して『広辞苑』では33%であるから、極端に少なくなったわけではない。やはり「くそ」語は、インパクトのある表現ではある。

しかしこうしてみると、日本における「くそ」語句の豊富な使用法は近世・近代までであって、農業における下肥の利用が減少し、下水道が整備されるにしたがって、「くそ」は生活の中からは排斥され、それにしたがって直裁的表現も姿を消していった。同時にあまりにも下品な表現である故をもって、公に用いられる表現として用いられることは少なくなったといえる。ただ親の手を借りなければならない幼児の「くそ」だけは日常生活から排斥してしまうわけにはいかず、「うんこ」とか、あるいはその幼児表現としての「うんち」などと表現され、さらには大便を指す一般的な表現として、「くそ」に代わって使用されることになった。しかしともかく、実態としては大きくその表現が減少したことは確かである。

2、ことわざ

(1) 韓国のことわざ

「くそ」は語句として用いられるだけではない。ことわざとしても日常生活に深く入り込んでいる。任東権の『ことわざ辞典』から“똥”のはいったことわざを抜き出して、整理してみよう(表2参照)。

こうしてみると、その“똥”の諺は多岐にわたっているが、あまり良い意味としては用いられていない。ただ、32“개똥도 약에 쓰려면 없다”(犬の糞もいざ薬にしようとすればない。)が、ややその必要性を認めている諺のように見える。しかしこれも、つまらない物の例として登場しているだけである。

これらの諺を排便行為と“똥”とかかわるものに分けてみると、排便行為にかかわるものは14件である。そのうち排便中のもの9件、排便後のもの2件、排便・失敗のもの3件であり、他は“똥”そのものにかかわるものである。排便行為より“똥”の方が圧倒的に多いので、“똥”そのものを対象とした、この諺に何が登場し、何と“똥”とが対置されているのか整理してみることとする。いずれも“똥”に対する感覚を明らかにしようとするためである。

糞そのものというのは7“똥(이) 되다”(くそになる)などのようなもので、17件である。そのほかに糞と結び付けられる事物は15種・33件あり、多いものから羅列すると次のようになる。

犬(12件)、畑・尻の穴(各4件)、牛(2件)、井戸・袋・棒・蓋・尿瓶・顔・腸・腹・蠅・下着・値段(各1件)

こうしてみると“犬”と結びついた表現が多いことがわかる。それも、糞にまみれたような犬である。飼い犬として大事にされていた犬ではなく、野良犬のような犬である。そのほか畑や牛の存在も無視できない。野良仕事などと、糞との関係が密接であったといえることができる。また生活用具とのかかわりも深く、極めて身近な事物と結び付けられているのである。

次に諺の中で糞と対置されているものであるが、全部で9種9件である。それらは、梅の花・露・陽当り・水・粃殻・南瓜の種・餅つき石・白粉・笠など、美しい自然や食べ物、身を飾る化粧・服飾などである。それはとりもなおさずくそが、汚い、食べられない、役に立たないものとして認識されていることを示している。しかも、それを言うために取り上げられているのは、改まったものではなく、誰でもが身近で、常日頃体験している事物を通してである。

表2 韓国の“ 𦄄 ”に関することわざ

	ことわざ 韓国語	日本語	意味	状況	登場物
1	똥싸뭇개다	糞を垂らしてぐずぐずする意。	手をつけた仕事をうまく処理できずにぐずぐずする。	のろま	
2	똥싼놈이 달아나고 방귀권놈이 잡혔다	糞をした奴が逃げ、屁をこいた奴がつかまる。	おおきな間違いをした人は逃げて無事で、小さい間違いをした人は辱めをうける。	逃げる	
3	똥싼주체에 매회타령한다	糞をもらしたくせに、梅の花をを楽しむ。	失敗して悪かったと恥ずかしがることもしないのずうずうしい人間だとあざ笑う言葉。	図々しい	梅の花
4	똥씹은얼굴	糞を噛む顔。	糞を噛んだようなしめめっ面をする。	好ましくない	
5	똥을누다	大便をする。くそを垂らす。			
6	똥을싸다	大便をもらす。	非常に苦勞する。ほとほと閉口する。びっくり仰天する。	困る	
7	똥(이)되다	くそになる。	俗っぽい表現で、面子や体面が丸つぶれになる。	面子がつぶれる	
8	똥누고 밀 아니 씻은것 같다	用便して尻拭いをしていないような心地だ。	ことを済ませたものの何となく気がすつとしないことのとたとえ。	後味が悪い	
9	똥누고 갈 적 마음 다르고 올 때 마음다르다	糞をして行くときに気持ちが違い、来るときに気持ちが違う。	すぐに気が変わる人をいう言葉。	移り気	
10	똥누면 분칠하여 말려두겠다	糞をすれば白粉を塗り、もらす。	自分のものをもったいながって、人について歩いていることをいう。	けち	白粉
11	똥누는 소리커도 개하나 먹을건 없다	用を足す音が大きくても、犬一匹が食べるくらいもない。	どんな仕事も聞いた噂よりは中身がない。	中身がない	
12	똥눈 우물 다시 먹는다	用を足した井戸の水をまた飲む。	将来を考えず、軽率な行動をするということ。	軽率	井戸水
13	똥눌때 힘안쓰는 사람없다	糞をするときに、力まない人はいない。	面倒くさい仕事をするときには、がんばらなければならない。	最善を尽くす	
14	똥 묻은 개가 겨 묻은 개 나무란다	糞まみれの犬がぬかまみれの犬を笑う。	目くそが鼻くそを笑う。	似たもの	犬 ぬか

15	똥이 무서워서 피하나 더러워서 피하지	糞がこわくて避けるのでない、汚くて避けるのだ。	取るに足らない者は相手にしないのがいい。	取るに足らない		
16	똥친 막대기	くそ除けをした棒切れ。	価値のない人・物のたとえ。	価値がない		棒
17	똥 먹던 강아지 안 들키고 겨 먹던 강아지들 낫다	糞を食べた犬はばれず、もみががらを食べた犬がばれる。	大きくよくない仕事をする人はすぐにはばれず、小さい仕事をできない人はばれ、あやふやに他人の罪までかぶってしまったときに使う言葉。	要領がいい	犬	もみ
18	똥 묻은 속옷을 팔아서라도	糞のついた下着を売ってでも…。	そのときは、手段を方法を総動員しても準備すると決心することをいう。	最善を尽くす		下着
19	똥값으 팔다	くその値段でうる。	捨て値で売る。	二束三文		
20	똥은 건들일수록 구린내만다	くそを触って動かせば動かすほど臭いにおいだけがする。	弱い人は対抗するればするほどよくないことがおきる。	悪いことばかり		
21	똥구멍으로 호박씨 깬다	尻の穴でかぼちゃの種をむく。	うわべは愚かなふりをしているが内心は腹黒い。	外面がよい		かぼちゃの種
22	똥구멍이 찢어지게 가난하다	尻の穴が破れるくらい貧乏だ。	ひどく貧乏だという意味として、田舎で貧乏な人は菜っ葉ばかり食べているため、用を足すときうまくでてこない。尻の穴が破れるくらい痛いときがあるから、こういう。	貧乏		
23	똥 끝이 타다	焦慮の余り大便が硬く黒くなるの意。	心を焦がす。ひどく気をもむ。いてもたってもいられない。やきもきする。	やきもきする		硬く黒い
24	똥배가 나온사내	糞腹が出ている男。	ほてい腹の男。	太っている		
25	똥주머니	糞の袋。	箆にも棒にもかからない人。役に立たない者。	役立たず		袋
26	똥줄이 나다	肛門が抜ける。	ひどい目にあう。苦しい目にあう。命からがら。	苦しい目にあう		
27	똥줄이 빠지다					
28	똥줄이 당기다	肛門がひきしまる。	非常に恐れる。怖がる。	怖い		
29	똥 찌른 막대기 같이 생겼다	糞を刺した棒のようにみえる。	様子が変で恥ずかしくなったという意味。	恥ずかしい		棒
30	똥은 덮어도 냄새가 난다	糞に蓋をしても臭う。	悪さを隠してもばれる。	ばれる		蓋
31	똥창이 맞다	배창이 맞다의俗っぽい語。(牛の腸の一部が合う)。	気が合う。意気投合する。	意気投合		牛

32	개똥도 약에 쓰려면 없다	犬の糞もいざ薬にしようとするばない。	いくらありふれたつまらないものでも、いざ必要になるとなかなか見つからない。	ありふれたもの	犬	薬	
33	개똥밭에 굴러도 이승이 좋다	つまらない暮らしてもこの世がいい。	命あつての物種。	命あつての物種			
34	개똥밭에도 이슬 내릴 날이 있다	犬の糞の畑にも露が降りるときがある。	待てば甘露の日和あり。	待てば甘露の日よりあり	犬	畑	
35	개똥밭에도 햇볕 들 때가 있다	犬の糞の畑にも日が当たるときがある。	卑しくみるところもない人でもいい運にあうことがあるという意味。	待てば甘露の日よりあり	犬	畑	
36	개똥밭에서 인물 났다난다	犬の糞の畑から人物がでる。	なんでもない家からもすばらしい人物がでてくる。	大人がでる	犬	畑	
37	개가 똥은 가리라	犬が糞を選ぶか。	長い間ひもじかった人が何を食べてもいう言葉。	ひもじい		犬	
38	개가 똥을 마다한다	犬が糞を拒む。	いつもは好きなものを、嫌いだと断るときにいう言葉。	好きなものを断る		犬	
39	키 큰 암소 똥 누듯 한다	背の高い雌の牛が糞をたれる。	動作が生半可に変にみえるのをあざ笑った言葉。	あざ笑う		雌牛	
40	급하다고 갓 쓰고 똥 누라	急いでいるからと笠をかぶったまま糞をするか。	いくら急いでいても、踏まえなければならない順序を無視することはできない。	順序		笠	
41	개하고 똥 다투라	犬と糞が言い合うか。	言い合いをするだけの相手にならないと見下している言葉。	見下す		犬	
42	파리 똥은 똥이 아니라	ハエの糞は糞ではないか。	量や質は違っても種類は同じ。	結局同じ		ハエ	
43	요강에 앉은 김에 똥까지 싸는 격	しびんに座ったついでに糞までたれる。	一举兩得。	一举兩得		しびん	
44	나물 밭에 똥눈 개는 늘 저 개 저 개 한다	菜っ葉の畑に糞をした犬はいつもその犬、その犬といわれる。	一度間違えると、いつでも簡単に疑いをうけるという意味。	疑いをうける	犬	菜っ葉	畑
45	남 눈 똥에 주저 앉고 애매한 도깨비 떡돌이치 인디	他人がした糞に座り込み、餅つき石に引かれる。	自分は何も間違いはなく、他人が間違いの原因として罰を受けるという意味。	とぼっちり		他人	

(2) 日本のことわざ

日本の「くそ」にかかわることわざを、幾つかの『ことわざ辞典』から抜き出した表が、次に掲げるものである(表3参照)。

これらのことわざも、韓国の諺の分類にならって整理すると次のようになる。

まず、行為とかかわるものは6「糞を放れて逃げる」・24「糞を垂れる」の2件だけであり、他は排泄物の「糞」にかかわるものである。それらは「糞」そのものにかかわっている諺が17件で

圧倒的に多いが、それだけではなく、糞船・糞虫（各2件）・糞桶（1件）なども含んでいる。糞を運ぶ物事も取り上げられているのである。これに対置されているものは8種10件で、味噌が3件である外はいずれも1件ずつで、トマト・食物・猪・馬鹿・船頭・箔・観音などが取り上げられている。一見して自然とのかかわりが薄く、人事にかかわるものが多いことに気が付く。その中で、味噌・トマト・食物が半数を占めている。箔・観音などはかなり特殊な環境を背景としているように思われ、職人や寺院など都市的な社会とのかかわりも感じさせる。

（3）韓国と日本の諺の比較

以上両国の「くそ」にかかわる諺を比較してみて、まず注目されるのは、日本のことわざ¹には、韓国のことわざほど「糞」に関する諺が多くないことである。そして、日本では韓国のように、「犬」と「糞」とが結びつくことわざはない。ただ、「糞桜」という言い方で、「犬桜」を指すものはある²。

これに反し、日本では“味噌”と結びついていることが多い。日本で味噌と糞とが結びついたのは、見た形が似ているからであろう。学校の便検査で、朝、どうしても排便できず、しかたなく大便の代わりに味噌を持って行ったなどという話を聞いたこともある。もちろん、検査をすればその違いなどはすぐに見分けられることはわかっているが、ともかく検体の提出だけは無事に乗り越えたいからであり、成功した例があるという話である。それくらい、味噌と糞の見かけは似ている。また、味噌が生活の中に浸透しており、身近なものであったことも理由の一つだろう。見たこともないものを結びつけて、折々に使う諺の中に出てくるとは考えにくいからだ。実際、味噌は多く料理に使われており、味噌にまつわる俗信も多く³、日本人の生活には欠かせないものとなっていた。

しかし、韓国にも味噌があるのに、なぜか関連付けられていない。これはなぜなのか、もう少し聞き取り調査などをしてみないとわからない。なんらかの理由があるのだと思われる。

また、共通してみられるものとしては、「何の役にもたたない」「価値がない」という意味で使われているものがあるということである。馬鹿にするとときに使うことわざも多いことが共通している。しかし、下肥として使われ重要な役割を果たしていたにもかかわらず、諺としては役に立たないものとされていたのは、たぶん排泄された汚いものとしての印象が強かったからであろう。

このような具体的な差異もあるが、もっとも大きな差異がある。それは、韓国の“똥”が、自然や農作業とかかわる、身近な存在として捉えられているのに対し、日本の「くそ」は、物の側面が強調され、糞桶や糞船で生活圏から運び出される存在として捉えられたり、単に動植物の名称となっていたりして、人間と異なる世界とかかわっているように思われることである。韓国では自ら排泄し、日常生活の中において避けることのできない存在とされているのに対し、日本では、自らの排泄したものでありながら、できればその存在を認めまいとしているのかのようなのである。

表3 “くそ” に関する

	ことわざ	意味	登場物
1	トマトと下肥	人糞尿をあたえると土壌がしだいに酸性となり、しかも夏に向かって地温が高くなるとトマトは青枯病にかかり、ときには全滅になることさえある。	トマト
2	糞と見て踏むべからず、馬鹿と見て構うべからず	無意味なことは相手にしないほうがよい。	触らぬ神に祟りなし 馬鹿
3	糞に箔塗る	外見だけ立派で中身のないこと。くだらないことに一生懸命になること。	箔
4	糞舟にも船頭	つまらぬ仕事にも、それぞれの係りが居る。	船頭
5	糞を食ってもあたらぬ	身体の頑健なこと。また、厚かましいこと。	
6	糞を放れて逃げる	不義理をしていたたまれずに逃げる。	
7	糞を味噌にいう	非常に悪く言う。くそみそにいう。	味噌
8	糞食った猪	無口者。だんまり。	猪
9	糞食らえ観音	くそをくらえ。また自力で行けという意につかう。	観音
10	糞と味噌と一口	物の区別がない。	味噌
11	糞の煮えたも知らぬ	ぶつぶつ不平をいうこと。	煮る
12	糞の役にもたたぬ	何の役にもたたない。	
13	糞虫我が身知らず	自分の身も顧ず、高慢な振舞いをする事。	虫
14	糞桶の紐通し	こえたごのひもを通す穴が二つ並んでいるのが、鼻の穴に煮ているということから、あぐら鼻をいう。	紐
15	糞舟の束子	くそ舟をそうじするたわし。江戸時代に髻の大きすぎて見苦しいのをあざけることば。	束子 舟
16	糞虫の高上がり	つまらぬ者が上座にすわってのさばっていることのたとえ。	虫
17	糞も味噌も一緒	善悪美醜の区別のないこと。	味噌
18	糞をくらえ	やけをおこしたり、相手をののしり返して言う語。くしゃみをしたとき、魂が飛び出すのをふせつごいってまじないに唱えた言葉。	糞でも 拝味し やがれ
19	糞があきれる	たいそうあきれる。	
20	糞とも思わぬ	平気でなんとも感じない。	
21	糞にする	無価値のものにする。馬鹿にする。	
22	糞にもならぬ	何の役にもたたない。	
23	糞の煮えるよう	ぶつぶつと小言を言う。	煮える
24	糞を垂れる	大便をする。不義理をする。	

3. 大衆の中での“くそ”

①TV・映画

現代の韓国人が“똥”をどのように認識しているかを把握するために、まずTV・映画におけるその描き方を概観してみよう。

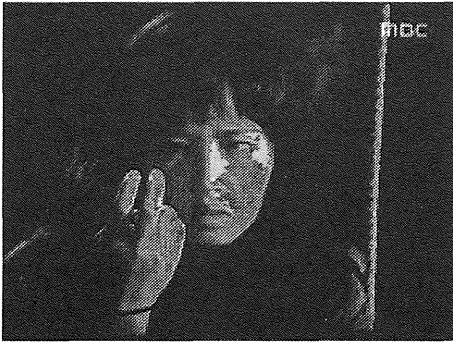
最近話題になった“糞”といえば、MBCで2008年9月10日から11月12日まで放送された「ペーベン・ウィルス⁴」だろう。MBC製作のドラマで、日本のフジテレビ製作で人気になった「のだめカンタービレ⁵」の韓国版といわれ、注目されたドラマである。市の楽団に呼ばれた高飛車な指揮者がうまく演奏できない年配の女性に向かって、「똥덩어리 (トントンオリ)」という場面があり人気が出た。「トントンオリ」というのは「糞のかたまり」といったニュアンスで、「脳みそのない」「脳みそが糞のかたまりだ」といった意味である。これが放送された後は、いろいろな場面でこの言葉を聞くことになった。俳優の演技がよかったせいもあるが、広くこの言葉が受け入れられたということである。決していい言葉ではなく、悪口であり、日常生活においても登場回数が多いはずだが、爆発的に広まった。「石頭」や「鳥のような頭」という言葉もあり、どちらも頭の回転が悪い、愚鈍だ、といったような意味で、「トントンオリ」と似た言葉である。しかし、こうした言葉が他のドラマで何度言われても、「トントンオリ」のような人気はでない。“똥”と言う語の持つパワーの例である。



トントンオリを加工してブログに掲載した写真⁶

また、“糞”とって思い出すドラマは何か、と20代の大学生たちに聞いたところ、「私の名前はキムサンスン⁷」という答えも返ってきた。やはりこれも、MBCで2005年に放送されたドラマだが、その中で、女性主人公がトイレで男性主人公に会うが、男性主人公はトイレットペーパーがないことに気がつくくだりがある。女性主人公に持ってきてほしいというが、女性主人公は、「血液型別の解決方法を知っているか」と血液型別のトイレットペーパーがなかった場合の解決方法を話し、結局トイレットペーパーは持ってきてやらない。その中で、指で拭いて出る、という部分があり、それが印象に残っているというのである。それによれば以下のとおりである。A型は内向的なので掃除のおばさんが来るまで待つ。AB型は合理的なのでゴミ箱に捨ててある他人が使った紙を使う⁸。O型はおおらかで多少のことは気にしないのでそのまま出る。B型

は2つのアレで解決する。このアレとは指のことである。男性主人公はB型なので、それを聞いてぎょっとする。

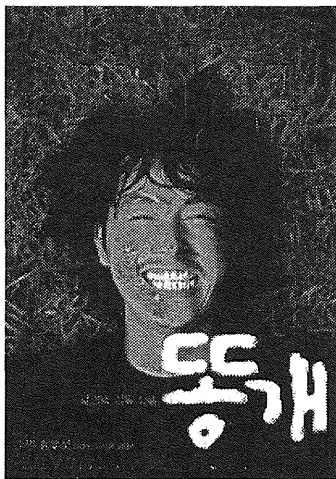


指で拭くという動作をしているサンスン⁹

資料の写真は、男性主人公がどうしたかを知らずに本当に指で拭いて出たのではないかと考えているサンスンである。排便後に指で拭くのが決して普通ではないからこそ印象的なのであるが、“糞”を“指で”という部分が記憶に残っているということであった。確かに強烈で印象的な場面であるが、さらにこのドラマではトイレが重要な役割を果たし、男女の出会いや別れ、人間関係の形成などの場となっている。

また、今期始まったシットコムドラマ¹⁰では、初回に“糞”にまつわる場面が出てくる。お腹を壊した塾の学院長が、トイレに行きたくなり、我慢しながら探し、やっとのことでトイレに入れると思ったら、女の子とぶつかって倒れ、その拍子に排便してしまったという場面がある。音がリアルで、見ていて少々リアルすぎるのではないかと思っただけであった。実際、その学院長を演じている俳優は、コメディアンでもなく、今まで大統領や社長など重みのある役をこなしていたベテラン俳優である。ある芸能番組でも、こんなベテランがあんな場面をやるなんてショッキングであったが、どんな気持ちだったのかとインタビューすることもあった。正確には覚えていないが、あまりやったことのない場面だったので面白くやった、というような返事をしてきた。少しリアルすぎるかと思っただけで、面白くなるならと思っただけであった。

しかし、このシットコムは月曜～金曜の19:45～20:10に放送されている。夕飯の時間と重なるのではないかと思うが、苦情もなく放送されているところを見ると、こうしたことには寛容なのかもしれない。



トンケの公開ポスター¹²

映画では「똥개 (トンケ)¹¹」という映画が思い浮かぶということであった。直訳すると“糞犬”という意味だが、俗の意味では野良犬という意味で、人に対して使うときには“貧しい”“ろくでもない”“いやしい”などの意味で使われる。「トンケ」の主人公のチョルミンは父親と二人暮らしだが、近所をぶらぶらとしていて“トンケ (野良犬)”と呼ばれるようになる。ただ貧しいだけでなく、どこか足りない感じが余計に“トンケ”と呼ばせるように描かれている。

また、内容だけではなく、ドラマなどで活躍する女優たちの髪型を「うんち頭¹³」といって、流行したこともある。日本

で言う「おだんご頭」であるが、「おだんご頭」よりも少し緩く大きく髪をあげているのが特徴で、うずを巻いている感じが「うんち」に似ていたため、「うんち頭」になっただけ。写真資料のような形で、暑い夏にはどこでもよくみられるような髪型である。自分でできない女性は、美容院などに来て、「〇〇（女優の名前）がしていたようなうんち頭にしてください」という。しかし、きっちりとあげるわけではないので、だいたいは自分で作る。学生たちからも「うんち頭、やって」とか、「今日のうんち頭、いいね」といった会話が聞かれることもあり、これもTVなどメディアの影響で一般化した“うんち”とっていいだろう。

しかし、日本でいくらかわいいきれいな女優の髪型でも「うんち頭」「うんちヘア」という名前で流行するだろうか。筆者の経験では、「おだんご頭」を友達同士でからかって「うんち」と呼ぶことはあった。しかし、“頭に「うんち」を乗せる”というイメージが先行して、流行の髪型の名称として「うんちヘア」「うんち頭」とは表現しないであろう。



金ヨナのうんち頭¹⁵

バラエティ番組でも“汚”と言う場面がないこともない¹⁴。しかし、共演していた女性はしつけの上から、その話を避けた。

また、“糞”ではないが、「吐く」行為も多く描かれている。トップ女優といわれるような女優が酔っ払って吐く場面や、つわりで便器に顔をつっこむという場面も描かれている。日本のドラマであれば、音でだけであったり、ドアの外での演技で何が起きているかわかるようにするであろうと思われる場面も、しっかり具体的に吐瀉物まで描かれる場合もあるのである。

日本でも知っている人の多い「猟奇的な彼女¹⁶」という映画の中では、主人公の女の子が酔っ払って地下鉄に乗り、気分が悪くなり座っているおじいさんの頭の上に吐いてしまい、吐瀉物が落ちてくる。それを見ていた乗客たちは顔をしかめているという場面がある。映画館でその場面を見ていた観客たちも、「汚い」という声を上げながらも笑って見ているだけなのである。

こうした反応は、“糞”や排便行為などと同じであり、そうした場面を見ても「汚い」という声を上げるだけで、笑ってみていることが多い。

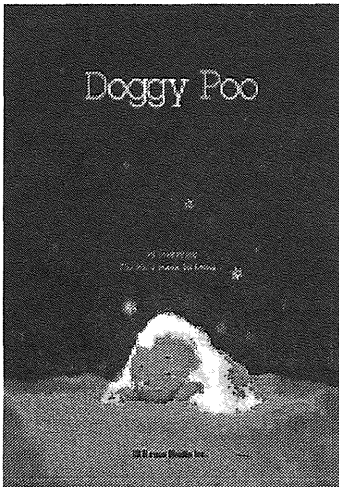
②絵本・アニメーション・落書き

音楽で“糞”を連呼しているようなものはないが、アニメーションに“糞”が入っているものはある。「강아지 똥（子犬のうんち）¹⁷」というアニメーションである。

犬から出された“うんち”が主人公である。子犬の“うんち”がすずめや土や枯葉などに会い、それぞれ役割があるのに、自分は汚く使い道もない存在だと嘆くのだが、最後にはタンポ

ポが、自分の栄養になるのは“うんち”であると教え、“うんち”はきれいな花になることができるのだと知り、タンポポの栄養になっていく話である。ここで、主人公の“うんち”はすずめにつつかれ汚いといわれ、畑の土には汚く使い道がないものだといわれ、ニワトリにはお前なんかと一緒にすると罵られる。これらは、一般的に“糞”に抱いている人々の思いである。一方で、植物の栄養となる大切なものであると教えており、日常生活の中では、植物の栄養分として使われていたことを伝えようとしているのである。

子供が対象のアニメーションなので、かわいくわかりやすく描かれている。題名も、「犬の糞」ではなく「子犬のうんち」というかわいい響きにしてある。主役の“うんち”も資料の写真をみるとわかるように、かわいいキャラクターに設定されている。



「강아지 똥」ポスター

また、絵本にも“うんち”の登場するものは多い。日本も韓国も子供は“うんち”が好きである。“うんち”という興味を示したり、なぜか理由はわからないが笑いだしたりする。子供に限らず、大学の授業でも“排泄物”と黒板に書いただけでもなぜか笑い出す学生が多い。“排泄物”の字面のどこに面白い要素があるのかわからない。大学生でなく幼い子供たちには“排泄物”は難しい。“排泄物”と言って笑わなくても、“うんち”“糞”というと、「汚い」といいながらも笑う。そのせいか、絵本にも“うんち”が登場するものは、日本でも韓国でも多い。

なお、日本の中学生の教科書の落書きで、第25番目に多いのは“うんち”であるという¹⁸。前述の韓国のシットコムの中でも“うんち”の落書き¹⁹が見られるし、日本のバラエティでも見られる²⁰。“うんち”は汚いといいつつも、描いたり、話したり、聞いたりすることには興味があるということだろう。

4. まとめ—韓国人にとっての“糞”

以上、韓国と日本における言葉や諺、大衆の中における“ㄱ소”「くそ」の使われ方を、概観してきた。その結果、両国における「くそ」文化の差異が、ある程度明らかになった。一言でいえば、韓国では日本よりも“糞”が生活文化として確固たる市民権を獲得しているように思われるということである。生活の中に「くそ」が生きているのである。確かに「くそ」に対する子供の頃の興味のあり方は両国ともそれほど違いはないのかもしれない。しかし、その後における「くそ」に対する態度が異なるのである。ドラマや映画のセリフやシーン、アニメーションの題名などにも登場し、その存在は隠されようとはしていない。もちろん韓国でも、食事の時には“糞”などの汚い話をしてはいけないなどとしつけられ、時と場における制限があるのは、日本と同じである。しかし、“糞”の持っている汚いというイメージや、その言葉の響きを

避けるのではなく、楽しむ傾向が強いのである。

日本と同様に韓国でも農耕作業は重要であった。そのため“𦵑”「くそ」は単なる“排泄物”としてだけでなく、下肥として欠くことのできない貴重な存在であった。単に汚いものとして捨て去ってしまうものではなく、利用しなければならぬものであったのである。そうした意味では生活の中に自然に入り込んでいたものである。そのために、語句・諺に見られるように、生活の各分野にわたって様々な言語表現がなされたのである。それは決して隠されるような存在ではなかった。こうした事情は韓日共に違いはなかった。

しかし、日本においては『日本国語大辞典』と『広辞苑』の収録語彙数の減少に見られるように、生活の中における存在感を急速に低下させている。それは、あるいは近世における都市的生活の進展とかかわっているのかもしれない。もっとも、韓国における“𦵑”関係の語句数の変化は、いまだ確認していないので不明であり、その比較は改めて行う必要がある。しかし、現状における韓日両国の“𦵑”「くそ」に対する違いは、諺でも同様である。韓国の諺が農作業など自然と共に生きる生活と深く結び付いているのに対し、日本の諺は、自然とのかかわりより人事にかかわるものが多いのである。そしてあえて言うなら、職人や寺院など都市的な社会とのかかわりも感じさせている。つまり、韓国では“𦵑”が身近な存在であるのに対し、日本の「くそ」は、汚い排泄物としての側面が強調され、できるだけ遠ざけようとする姿勢が強いように思われる。こうした違いが、TVドラマや映画などにおける違いとなっているようにも思われる。ただ、ドラマなどにおける「くそ」の描き方については、筆者の違和感から韓国の例を多く取り上げたため日本の資料が不足であり、さらに両国の資料の収集に努め、それらについての検討を深めなければならない。

もちろんこれだけで、韓日文化比較が十分できたとは思っていない。“𦵑”「くそ」が、単独で存在しているわけではないし、それが現代社会の情報として大衆にどのように受容されているのかということになると、両国の政策とも関係しないわけではない。昨今の芸能界の活動などは1998年の文化開放²¹と無縁ではないはずである。そうでなくても“くそ”の扱いの歴史的变化や衛生観、便所などについても総合的に把握し、考察することは避けられない。多くの課題を残しながら、本論ではその大まかな把握をするにとどめておくことにする。

1 『故事ことわざの辞典』（小学館）、『続故事ことわざ辞典』（東京堂出版）、『故事ことわざ辞典』（東京堂出版）、『日本国語大辞典』第二版第四巻（小学館）、『広辞苑』第五版（岩波書店）、『新説ことわざ辞典』（東京堂出版）参照。

2 『日本国語大辞典』第二版第四巻 P.875。これによると、長野県諏訪郡で使われていたようである。

3 井之口章次『日本の俗信』弘文堂 1975年2月

4 MBC製作。原題「메뚜벤 바이러스」。水木ドラマとして2008年9月10日～11月12日放送。主演 キムミョンミン。日本のフジテレビ製作の「のだめカンタービレ」の韓国版としての前評判

- もあったが、コメディ色よりはドラマ色の強い作品となった。
- 5 ニノ宮知子原作。フジテレビがドラマ化し、2006年10月～2006年12月まで放送。全11話。アニメ化、スペシャルドラマ化、映画化もされた。音大に在籍する学生たちが登場するコメディ。このドラマのヒットによってクラシックブームなどの社会現象もおきた。
 - 6 <http://blog.naver.com/nana980112?Redirect=Log&logNo=90035997382>
 - 7 MBC製作。原題「내 이름은 김삼순」。水木ドラマとして2005年6月1日～7月25日放送。主演 キムソナ、ヒョンビン。少し太めの独身女性パティシエとレストランオーナーの話。全16話。
 - 8 韓国では使用済みのトイレトペーパーを流さず、備え付けのゴミ箱に捨てる。
 - 9 <http://boom.naver.com/BoardRead.nhn?categoryId=1&articleNum=20050630000127560>
 - 10 MBC製作。毎日連続シットコムドラマ「몽땅 내사랑 (モンタン ネ サラン)」(ねこそぎ私の愛)。
 - 11 邦題「トンケの蒼い空」。2003年公開。監督クァクギョンテク。主演チョンウソン。父親と二人暮らしのチョルミンは野良犬のように暮らしていたが、あることで一緒に暮らすようになった女の子と恋が芽生えるというラブストーリーと親子愛を描いた映画。
 - 12 <http://movie.naver.com/movie/bi/mi/basic.nhn?code=36931>
 - 13 “똥머리 (トンモリ)” といい、「クソ頭」とも訳せるが、ろくでもない頑固なイメージと重なってしまうため、また、女性たちが使っているニュアンスからみても“クソ”ではなくもう少しかわいいニュアンスなので、ここでは「うんち頭」と訳した。
 - 14 MBC局。土曜17:10～18:00放送の「私たち結婚しました」(原題“우리 결혼 했어요”) で、先輩コメディアンが食事中に“糞”の話をしてしまったときに、ソインヨンが「食事中になぜ“うんち”の話がでるのよ」と怒っていたことから、通常、食事中の“糞”の話はタブーである。
 - 15 http://kin.naver.com/qna/detail.nhn?d1id=8&dirId=8030205&docId=120577621&qb=65il66i466as&enc=utf8§ion=kin&rank=1&search_sort=0&spq=0&pid=gngXeg331ylssaVlvX4ssv-038972&sid=TPTnqA6@9EwAAFwBitY
 - 16 2001年公開。キムホシクのネット小説が原作。主演 チャンジヒョン、チャテヒョン。2003年日本公開。猟奇的な女の子とそれに翻弄される男子学生のラブコメディ。
 - 17 2003年製作。監督グォンオソン。童話が原作の33分のアニメーション。
<http://movie.naver.com/movie/bi/mi/basic.nhn?code=37448> 日本でも、平凡社から「こいぬのうんち」という題名で出版されている。クォンジョンセン作、チョンスンガク絵、ピョンキジャ訳。2000年。ISBN：9784582829488
 - 18 フジテレビ系列のバラエティ番組「トリビアの泉」2004年4月21日放送内の「トリビアの種」というコーナーで紹介された。
 - 19 前述のシットコムドラマの中で、アルバイトの女の子が塾の入り口の落書きを消している場面があったが、その落書きも“糞”の絵であった。

- 20 フジテレビで1996年10月5日～2001年3月31日に放送された音楽バラエティ番組。その中で、タレントの篠原ともえと歌手のKinki Kidsのからみのなかで、Kinki Kidsの一人である堂本光一が“うんち”の落書きをする場面があり、篠原ともえに「子供じゃないんだからそんな落書きやめてくださいよ」といわれることがあった。
- 21 1998年に金大中大統領の時に日本の文化を少しずつ開放していこうとした政策。1998年が1次、その後、1999年に第2次、2000年に第3次と開放され、2004年の第4次で全面開放された。

研究消息

濟州島研究会2010年度活動報告

濟州島研究会は濟州島の民俗文化の研究、特にアジアの中の濟州島という視点から濟州島の民俗文化を考え、濟州島を中心に東アジアの民俗文化について研究と交流の場を作る目的で2008年に発足して以来3年目になる。

●濟州島研究会集会（5月5日）

参加者：金泰順、古谷野洋子、古谷野昇、サイモン・ジョン、大橋克巳。

新宿新大久保駅に集合。コリアンタウンにて食事。北区田端駅前にある明月寺を訪問。大韓仏教曹溪宗太祖山護国覚願寺（通称 在日布教院 宗教法人 明月寺）住職申法印（俗名 正午）（文学博士）から僧侶になった経緯、渡海後活動を中心に話を聞く。氏は現在韓国仏教曹溪宗の僧侶として在日信者への仏教祭祀を行っている。また韓国に阿弥陀大仏を建立し現地で毎月布教活動を続けている。三河島駅周辺に残るコリアンタウンを散策。濟州島研究会の調査研究の領域を在日韓国人の調査へ拡大することを決める。国内で行われている祭祀の調査地を選定し調査活動にはいる。（埼玉県黒滝の巫俗など）

●花祭り 旧暦4月8日田端の明月寺と新宿の観音寺に金泰順・古谷野洋子が参加した。濟州島研究会でもお布施をしたので、明月寺では提灯を広間に吊っていただいた。

●新年集会 2011年1月22日漢名会館。

2011年の活動計画を決める。2～3月濟州島調査を2班に分け行う。2010年度調査活動を会誌「濟州島研究」にまとめ5月に発行する。

●濟州島調査 2011年2月8～15日 調査第1

班（古谷野昇、古谷野洋子、伊藤好英、小山和行、大橋克巳）

東福里本郷堂新年クッ、納邑里一祭（濟州島指定無形文化財6号）、耽羅国立春クンノリ（前夜祭）、耽羅国立春クンノリ（本祭）、安宅クッ（テギョンモテルにて）、下道里新年クッ、松堂里新年クッ（濟州島指定無形文化財6号）

濟州島で伊藤好英、小山和行両先生と合流し上記の新年祭に参加した。今回の調査で従来調査対象とした巫俗形式の祭祀のみならず儒教形式の醮祭も見学する事が出来た。

日の出峰付近の海で海女が実際採取している現場を見る。また韓国本土が口蹄疫で汚染され濟州島では防疫活動が行われていて外部者の巫俗祭祀参加を忌避されそうになった。また巫俗祭祀の中で子どもの治病祈願を母親が行う場面にも出合わせた。

●濟州島調査 2011年3月13～21日 調査第2班（金泰順、平井芽阿里、白莉莉、サイモン・ジョン）

ハムトク・ヨンドンクッ、西帰浦・ヨンドンクッ、ウイミ2里・ヨンドンクッ、チルモリ・ヨンドンクッ、マラド、カップド、オボ調査、濟州島道庁、北村トルハルバン公園

今回の調査はヨンドンクッの行われる各地を訪問した。従来濟州島東地区の調査が多かったので西地区を集中して行う。また濟州島を一時期支配運営していたモンゴルの影響をオボ信仰との比較に於いて調査した。

（大橋克巳）